

よく考え、進んで行動できる、心身共にたくましい児童の育成

＝ 強く 明るく 考える ＝



高田小学校だより

稲敷市立高田小学校
令和7年11月21日発行 No7
TEL 029-892-2242
FAX 029-892-3794
<https://www.inashiki-c.ed.jp/page/dir000052.html>

本物にふれる 本物から学ぶ

木枯らしが吹く季節となりました。暦の上では立冬を迎え、校庭の木々もすでに冬の装いです。それとともに、インフルエンザ等の感染症が流行期に入りました。ご家庭と連携しながら、子どもたちには自分で自分の健康管理ができるよう、引き続き支援していきます。保護者の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

先日、市制20年の節目を記念した活動として、「歌っておどれる音楽鑑賞会」「伝統芸能にふれる～落語鑑賞会」が行われました（詳しくは右をお読みください）。子どもたちの聞く姿は前のめりで、次々と繰り出される本物の迫力に引き込まれていました。普段は見ない楽器、演者や舞台を目にし、普段とは違う音や話に包まれ、実感や感動をともなった学びとなりました。

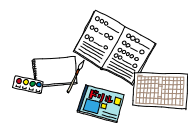
情報通信技術が発達した今、機器を上手に活用したりリアルに近い経験は手軽にできるようになりました。しかし、地域の方々等の力添えを得て、間近で「本物にふれる」「本物から学ぶ」ことは何ものにも代えがたい貴重な体験だと、改めて感じさせてくれます。



学習の習慣づくりに向けて

後期に入り、子どもたちは自分なりの目標（生活・学習）を立てました。目標を達成するために必要なことのひとつが「続けて取り組むこと」＝「習慣化」です。子どもたちだけでは確かな習慣づくりは「難しいこと」であるかもしれません。県教育委員会では、学習習慣の定着のために次のことを推奨しています。

- ① 自分で学習計画をつくり、決めたことをやり抜く姿を見守る。
- ② テレビゲーム、スマートフォン使用時間のルールを一緒につくる。
- ③ 読書の習慣を定着させ、読書の幅を広げられるようにする。



詳しくは、ご家庭に配付された「児童生徒の学習習慣の確立に向けて 家庭での支えが子供を伸ばします（令和7年11月 茨城県教育委員会）」をお読みください。学校でも、学年によって（発達の段階に応じて）声かけの言葉も工夫しながら、自立した学習者を目指して働き掛けていきます。

高田小学校運動会

10月25日（土）は令和7年度高田小学校運動会を実施しました。当日はあいにくの天気で、30分遅れでの実施となりました。待機時間に「子どもたちが濡れてしまうので、テントを立てましょう」と保護者の方から声上がり、テントを2張設営することになりました。設営するときにはたくさんの保護者の皆様にご協力いただきました。改めてお礼申し上げます。

いざ運動会が始まってみると、子どもたちは元気いっぱい各種競技に参加し、精一杯活躍しました。天候の悪化を考慮し、団体種目を優先して実施しました。低学年の「ダンスde玉入れ」では、可愛らしい踊りとともに、一生懸命にボールを投げる1・2年生の姿がありました。ダンスの笑顔とボールを投げる真剣な顔のメリハリがきいていました。中学年の「大玉の呼吸 弐のかた：ごーごーコンビ走！」では、デカパンを履いて大玉を転がすというテクニックのいる競技でしたが、友達と協力しながら笑顔で走る姿に微笑ましさを感じました。高学年の「全集中！全力運び」では、棒で風船をはさんで運びリレーでした。それぞれに持ち方やタイミングなどを工夫して最後まで走りきる姿は会場を大いに盛り上げました。

運動会全体として、実行委員会の子どもたちが中心となって開会式・閉会式を務め、記録・審判、準備、救護、放送、出発それぞれの係の児童が自分の役割をしっかりと果たし、はじめから終わりまで子ども主体の運動会を行うことができました。

保護者の皆様には、当日の悪天候にもかかわらず運動会にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。



落語鑑賞会（市制20周年記念事業）

11月6日（木）は落語鑑賞会を実施しました。講師は鶯春亭梅八（おうしゅんてい うめはち）さんです。梅八さんは落語だけでなく江戸時代から受け継がれている【江戸文字】という筆法を用いる職人さんでもあります。子どもたちには落語と江戸文字体験を通して、日本の伝統芸能や文化を学んでもらい、その楽しさを味わってもらおうと思います。

江戸文字体験は11月20日、27日と12月4日の3回を予定しております。